



議会だより

題字：與那覇 朝徳 議員



中城幼稚園：みんな仲良く、元気良く

目次

■ 平成17年12月定例議会	2
■ 平成17年12月定例議会一般質問	3
■ 平成18年3月定例議会	7
■ 平成18年3月定例議会一般質問	10

第13号
平成17・18年
12月・3月議会

平成18年 第 1回 1月臨時議会

平成17年度中城村一般会計補正予算(第7号)

可決

補正額3億9,100万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ59億3,734万3千円とする。全額中学校建設費に当てる。《公立学校施設整備補助金2億1,815万1千円+財政調整基金繰入金4,844万9千円+公立学校施設整備事業債1億2,440万円》3億9,100万円で賄う。

中城村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事委員の勧告等を考慮して、村職員の給与等を改定する。

可決

平成17年度中城村一般会計補正予算(第5号)

補正額246万円追加、予算総額55億5,200万8千円とする。主に一般管理費増による。

平成17年第10回12月定例議会

可決

平成17年度一般会計補正予算(第6号)

補正額：1,566万5千円を減額 総額：55億4,634万3千円

可決

平成17年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

補正額：138万5千円を増額 総額：18億3,108万5千円

可決

平成17年度公共下水道特別会計補正予算(第3号)

補正額：50万円を増額 総額3億5,343万8千円

可決

平成17年度土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)

補正額：420万円を増額 総額：9億6,486万5千円

採択

南浜地区元気な地域づくり事業計画

目的：南浜地区の排水路を整備することにより、農用地の浸食防止・農作物の被害を防止し、安定した営農基盤の確立を図る。

期間：平成18年度～平成21年度

事業費：1億210万円(国：80%、県：9%、村：11%)

選挙管理委員及び補充委員の選挙結果

平成18年第2回中城村議会定例会において、標記の選挙を行った結果、次の者を当選人と決定しました。

選挙 監理 委員	比嘉正夫	中城村字奥間133番地
	新垣キミ	// 津覇32番地
	比嘉英信	// 当間955番地
	比嘉美代子	// 北上原884番地2

同 補 充 員	新垣宗徳	中城村字伊集157番地
	仲眞勝治	// 屋宜737番地1
	比嘉敏彦	// 久場1924番地6
	屋嘉比柴堅	// 泊170番地

一般質問

平成十七年 十二月定例議会



電源立地関連

比嘉盛安 議員

モリヤス議員 久場、泊地区の市街化区域編入と区画整理事業への支援策、意向調査の集約と対応は。

村長 意向調査に基づいて、住民意思がその方向で共通理解が得られることを前提に区画整理事業の計画書等、交付金の交付要綱等を検討の上、可能な範囲で支援策を講じたい。

モリヤス議員 電源立地については、市街化区域編入、区画整理事業、産業高度化、工業適地指定等大きな課題があり、各課の連携が余りとられてない、市街化編入も平成二十年で時間的にも非常に厳しいと思いますが、助役 連携をして全員で当

たつていくということを確認済みであります。

モリヤス議員 久場前浜原線の道路建設の経過は。

建設経済課長 十一月十一日に受注し、地元の要望を最優先し将来は区画整理事業も視野に入れ変更設定等も想定されております。

ペット墓地建設

モリヤス議員 ペット墓地建設への対応と反省は、その反省を踏まえて、条例化の取り組みは。

村長 当初の役場窓口での対応は、事の重要性への認識と慎重さ、早めに地域住民への情報提供、土地利用構想に基づいて強力に指導すべきだった。指導要綱に沿って、届出書の提出、工事の中止を求めたが一方的に工事を強行した。業者のモラルの問題もある。条例化に向けては先進地事例もよく検討して前向きに取り組んでいきたい。

モリヤス議員 指導要綱の法的性格は行政指導による方針を示したもので、法的拘束力もないし、強制力も有するものではなく、勧告的任意なものであって、相手方の任意の協力を要請するにすぎない。従って、相手方の協力要請に従うか、従わないかの選択を有し、行政指導を受けた相手が従わ

ないからといって何ら不利益なことを与えるような処置を法的に行い得る道理はないとされております。そういうことでは指導要綱で規制するのは非常に厳しいわけであり、全国的にも住宅地周辺でのトラブルが相ついでいる状況であります。次また新たな施設ができないとも限りませんが、いつ頃その条例制定ができるか。

村長 全くご指摘の通りで指導要綱は訓示的なもので強制する、規制することはなかなか難しいと考えています。ペット霊園の設置に伴う条例、距離の問題、隣接地主の同意、自治会の同意、先進地例に習い、条例化を三月定例会までには急ぎたいと考えております。

賀武道線修復

モリヤス議員 村道賀武道線については道路が沈下をして相当な段差が生じ亀裂で、暗い夜等ハンドルを取られたり、交通安全上問題であります。又、雨が降りますと雨が染み込んで亀裂が余計に大きくなり交通が不可能になる状態もありますが修復の計画は。

建設経済課長 私も現場を確認して交通安全上も非常に必要だと感じております。全面改良には相当の財政的支援が必要だと思っており、当面補修順位としては最優先である認識しておりますので補修に向けて努力します。

益なことを与えるような処置を法的に行い得る道理はないとされております。そういうことでは指導要綱で規制するのは非常に厳しいわけであり、全国的にも住宅地周辺でのトラブルが相ついでいる状況であります。次また新たな施設ができないとも限りませんが、いつ頃その条例制定ができるか。

村長 全くご指摘の通りで指導要綱は訓示的なもので強制する、規制することはなかなか難しいと考えています。ペット霊園の設置に伴う条例、距離の問題、隣接地主の同意、自治会の同意、先進地例に習い、条例化を三月定例会までには急ぎたいと考えております。

子供たちの安全確保

新垣健二 議員



新垣議員 県内においても昨年より子供への登下校時の事件が二四%もふえているような状況であります。本村でもそういう事件の情報は昨年の答弁の中で二件があったと答弁がありましたが、その後そのような事件の報告があったのかどうか伺います。

教育総務課主幹 すべて把握できてはおりませんが、ありませんけれども、知らない人からの声かけや、女子高校生が体をさわられたという事件が発生しております。

新垣議員 地域の力を借りた安全対策も考えているのかどうか、どのようなことが本村ではできるのか、具体的に説明をお願いします。

教育長 沖縄県では安全安心なまちづくりというものを

を各市町村自治体で実施するように提案が出されておりますので、その辺との連携を含めて、元気なお年寄りのみなさんにも協力をいただいで地域全体で子供たちを守っていく。子供たちの安全を確保するというところで今後取り組んでいきたいと思っております。

新垣議員 教職員と保護者、生徒と一緒に、実際に通学路の総点検をやっているのか伺います。

教育総務課主幹 津覇小学校は昨年度行っております。それをもとに安全マップを改正しております。中城小学校においては校長、教頭が中心になって通学路の安全確認をしております。

虐待防止法

新垣議員 虐待の防止や早期発見、早期対応、また幅広い対応が求められていることからさまざまな機関がネットワークで連携をして対応することが重要だと言われております。そのネットワークづくりは進んでいるのかお聞きします。

村長 極力専門職の配置ができるように努力をしてネットワークを進めてまいりたいと、その準備段階での情報収集とか、講習会、勉強会は今進めて準備態勢を

環境整備

整えているところであります。

新垣議員 学校で健康診断や日頃子供たちを視察している中で虐待の疑いがあるというような報告を受けたことがあるのか、また教育委員会として虐待に対する対処方法というのは持っているのかどうか伺います。

教育総務課主幹 今年度も虐待事件が起こっております。昨年度から村主催の生徒指導教育者担当者会議がありますので、こちらの方で対応をして各学校の先生方へ周知するようにお願いしております。

新垣議員 津覇と和宇慶の間を流れている野国謝川の整備計画について、それと津覇前原線の一部未整備のところがありますがその整備計画について伺います。

建設経済課長 野国謝川の整備計画については、工期を平成十七年度から平成十八年度に延長六三〇メートルを予定しております。前線の整備計画については、今現在簡易舗装でやっておりますけれども、ちゃんとした道路整備もやるためには、地権者との同意を得まして、予算化して施行するということとなります。

を整えているところであります。

新垣議員 学校で健康診断や日頃子供たちを視察している中で虐待の疑いがあるというような報告を受けたことがあるのか、また教育委員会として虐待に対する対処方法というのは持っているのかどうか伺います。

教育総務課主幹 今年度も虐待事件が起こっております。昨年度から村主催の生徒指導教育者担当者会議がありますので、こちらの方で対応をして各学校の先生方へ周知するようにお願いしております。

新垣議員 津覇と和宇慶の間を流れている野国謝川の整備計画について、それと津覇前原線の一部未整備のところがありますがその整備計画について伺います。

建設経済課長 野国謝川の整備計画については、工期を平成十七年度から平成十八年度に延長六三〇メートルを予定しております。前線の整備計画については、今現在簡易舗装でやっておりますけれども、ちゃんとした道路整備もやるためには、地権者との同意を得まして、予算化して施行するということとなります。



村民との協働型 社会構築

新垣善功 議員

新垣議員 村は、村民の暮らしを豊かにするための公共を目的とした主体的なボランティアグループの育成と活動の推進に取り組んでいくべきではないかと思いますが、村長の考えをお伺いします。

村長 結論から申し上げますと、その基本的な考え方には異論はございません。同感です。近年、福祉・環境・まちづくりという様々な分野でボランティア活動が活発化し、その重要性が認識されていることであります。今後協働形社会の構

築に向けて取り組んで参りたいと考えております。

新垣議員 これからの時代は、行政に頼る。任せる。といった考えは変えていくべきであり、村民が変えていくべきであり、村民が地域のために何が出来るかを考え、活動する社会に改革すべきで、そのことが、生きがいにつながっていくのではないかと思いますので協働型社会の構築に向けて取り組んでいくことを強く要望します。

村長 村がもっとボランティアの問題について、リードすべきではないかとのことでありますが、村長としても率先してボランティア活動に参加していきたいと思っています。

役場庁舎建設計画

新垣議員 村長は、平成二十年には、中城村政百周年を記念に役場庁舎建設をしたいとのことで、「庁舎建設基金条例」を制定したが、財政が厳しくなり基金積立が思う様にならないと言うことでありますが、庁舎の老朽化はすみ、庁舎建設は避けて通れないと思いま

すが村長の考えを伺います。

村長 今ご指摘のように、国の三位一体の改革のおおりの受け、基金積立が当初の計画通りにいかなかったり、非常に胸を痛めている次第です。財政状況を見ながらすすめていきたいと思っています。計画通り推進できなかったことを大変遺憾に思っております。

新垣議員 私の提案ですが、民間に建設させ、村がリースし、十年から二十年後は村のものになる様な、リースバック方式も検討すべきであると考えますが、村長の考えを伺います。

村長 わが村は数年後は、沖縄電力の火力発電所が完成すれば、村の財政も好転すると予想されるので、その時に心機まきなおしを図っていきたくて考えています。

新垣議員 私は、民間の力を借りて、早期に役場庁舎を建設することを強く要望します。



役場職員定数

宮城重夫 議員

シゲオ議員 現在、中城村役場職員の条例上の定数は何名か、そして、今後の職員数について伺いたい。

村長 現在、総務省の通達によって県下、各市町村とも集中改革プランを策定中で平成十七年度中に具体的な数値目標を設定して、住民にわかりやすく公表せよということとその作業中です。住民サービスの低下につながりますので、少なければいいということではありませんので、多角的、多方面からの検討が必要だと思います。

総務課長 条例定数が百四十一名、そして十一月現在の職員数は一二三名です。集中改革プランの中で村職員の適正化を作成し職員の管理をやっていく段取りかとおもいます。

シゲオ議員 条例上の定数が百四十名にたいし、百二十三名が現在の職員数で住民サービスに対応出来ると思いますか？又、二〇〇七年度の退職予定者は何名ですか。

総務課長 二〇〇七年に定年退職を迎える方が七名いらっしゃいます。

村長 緊急避難措置で、スクラップアンドビルドをやっております。臨時職員五八名で少々臨時職員がふえてきたということで、いずれこのトンネルをぬけたら適正なる職員数は何名か検討してまいりたいと思います。

企画調査費

シゲオ議員 去る六月定例会で企画費に調査委託経費で六二〇万円計上されました。この件には九月の定例会にも質問しましたが、その後、現在までの執行状況がどうなっているか伺いた

い。

企画課長兼電源立地推進室長 この調査費につきましては九月議会でも報告したとおり、中城村のマーケティング基本計画作成の事業として取り組んでいます。検討委員会を二回開催し、ワーキングチームも三回開催し、特産品の仮設販売試験を行っている最中です。

シゲオ議員 村長は道の駅構想の実現を前提にこの事業を推進していますか。

村長 いろんなアンケート調査をし、集客の様子を見ながら道の駅構想につなげていきたい四、五年先を射程距離内において、道の駅構想を実現するためのいち行程と認識していただきたいと思います。



農産物フェア
販売所内の様子

ペット墓地建設と生活環境



宮城 治邦 議員

宮城議員 快適な居住環境が住民生活の理想だと思いません。久場自治会の同意もなく、地域住民が反対するペット墓地が突然に集落内に建設されております。何故、このような問題が起きたか。又、中城村の土地利用計画や地域振興策事業との整合性はあるのか。

村長 業者に対する役場の窓口対応で、この種の事業の住民との関わり、当該地域の土地利用との関連からして、役場内部の連絡調整不足、地域住民や自治会への情報提供の遅れ等、慎重さに欠けた点があったことは率直に反省しております。土地利用上も相入れない施設である。そういう立場から反対の姿勢をとり続けたことはご承知の通りで御座ります。今後は地域住民のために取れる手段を最大限

講じていきたいと考えております。

宮城議員 建築物を伴わない開発行為に関する指導要綱が告示されていますが、その目的は何か。又、法的拘束力を有するか。ペット霊園の設置等に関する条例を制定する考えはないか。時期はいつ提案されるか。

村長 地域住民とのトラブルを防止する事と、土地利用を効率的且つ、効果的に図っていく為の趣旨で御座います。指導要綱は強制力、規制することはできないというの一般的な考え方であると思いますが、それ故に条例化する必要があると、特に今度の問題に限って身にしみておりまして、私は三月議会をメドに議会にご提案を申し上げますので、よろしくお願いたします。

宮城議員 平成十四年、十五年、十六年、十七年と産業高度化地域指定について質問をして来ました。本村は地域指定を受けて、課税免除の条例を制定する考えはあるのか。又、国、県への地域指定に向けて、作業の進捗状況はどうなっているか。

村長 産業高度化地域指定を受けて、課税免除の恩典が得られるならば、それに超したことは御座りませんので、進めていく気持ちは十分持っております。

電源室長 平成十五年度で仮登録という形を取っておりますので、含む五年間で条件をクリアしなければなら

ない部分がありまして、現在の市街化区域編入作業のスケジュールからして厳しい状態に追いこまれているのは事実であり、現在試行錯誤している状況であります。

宮城議員 産業高度化地域指定を受けて、沖縄電力への税制上の優遇措置をすることによって、財政的な支援等が村及び電源立地地元に期待ができると思えます。しかし、国、県からの課題として、工場適地の確保、企業の集積、市街化区域の編入等の条件が平成二十年程度にクリアできるか、地域指定を受ける要件が困難だと言われております。平成十三年度に電源立地の誘致要請をしてから、沖縄電力より強く要請をされて、これまで時間的な余裕があったにも関わらず、何故対策ができなかったのか。政策的な課題として村長はそのような課題にどのように対応されるか。

村長 産業高度化地域指定の工場適地の問題につきましては、大きなハードルがあつて、電源推進室長からもありましたけれども、平成十九年度というのは非常に厳しい状況を迎えております。しかし、厳しいからといって手を緩める訳にはいかない。厳しいからこそ懸命に条件を満たすべく頑張つていく覚悟を決めております。電源立地によって必ずやいい街づくりができるものと、大きな夢を描いて懸命に努力して参ることをお誓いしたいと思っております。

図書管理システムの導入



仲 眞 功 浩 議員

仲眞議員 朝の読書活動とか、読み聞かせボランティアグループの皆さんの努力により、子どもたちの読書活動には目を見張るものがあり、県の読書目標冊数をはるかにオーバーしております。しかし、これをバックアップする学校図書館の管理システム化は進んでいない。小学校図書館の管理運営システムの導入はどうなっているのか。

教育総務課長 平成十六年度から平成十七年度にかけて、中学校に図書館の管理システムを導入しました。今ちようど稼働しているところでありますが、統計調査も含めてすぐ出てくるので非常に便利です。新年度

に向けて、小学校の図書館の管理システムをぜひ要求していきたいと思っております。

仲眞議員 貸し出しの時に、たくさん子どもたちを待たせ満足にサービスができないということで、図書館の先生方は大変くろうをしております。早急な導入を強くお願いたします。

当間改良地区の整備計画

農業振興整備計画

仲眞議員 「農業振興地域の整備に関する法律」いわゆる農振法によれば、市町村はおおむね五年ごとに農業振興整備計画に関する基礎調査を実施するものとされており、その時期が近づいてきていますが本村の対応計画はどうなっているのか。

建設経済課長 平成十五年に見直しがされ三四ヘクタールが農振農用地になっている。昭和五十一年からすると一・二倍の農用地が白地に変わつていたということです。農振農用地については農地転用を認めないということでありまして、それ以上農用地を白地の方にもつていくというのは農用地を守る立場から、見直しについてはこしばらくは待つていただきたいと思っております。

仲眞議員 当間地区の農地改良事業が終了してからしばらく経ているのに、この地区の農地基盤整備は一向に進んでいない。和宇慶地区では二回目の整備事業に入るといふようなところも出てきている。非常に偏った整備事業が行われていてバランスを欠いている。当間改良地区の整備計画はどうなっているのか。

建設経済課長 農業農村整備計画の中で、和宇慶地区の方を先行しておりますが平成二十年以降は和宇慶地区の事業が終わりますので当間地区の方に移ってまいります。「元気な村づくり事業」という事業が補助金から交付金体制に変わりますので、早ければ平成十九年あたりに県の方に採択をしようという事業についての計画をしていきたいと思っております。

仲眞議員 おっしゃる通り

児童虐待防止策



安里 ヨシ子 議員

虐待防止対策へのとりくみを推進し、その充実と定着を図る事を目的としています。又十一月は児童虐待防止月間と位置づけられています。本村でのとりくみ状況について伺います。

福祉保健課長 月間では特にやっています。通告事例の発生があれば年二回コザ児童相談所に報告しています。

ヨシ子議員 虐待は子供達の人格形成に非常に大きな影響を与える。隣近所の人達の通告義務も課されているわけで、広報活動、啓蒙活動が重要です。地域でのネットワーク作りをどう進めるか伺います。

福祉保健課長 当分の間は、担当課で福祉保険課を窓口として児童福祉係、保健師、母子保健係の職員で対応、コザ児童相談所、中部福祉保健所と連携のもと対応していきたい。

ヨシ子議員 多くの民間団体、関係者等の積極的な参加を求め、協同して児童虐

ヨシ子議員 発電所に隣接する住民にとって心配なのは環境破壊と健康の問題だと思えます。Co2削減につい

火力発電所の環境破壊

て村はどのような対応を考えていますか、又地元住民の健康を守るため、企業の責任で定期的に健康診断を実施させる事が可能か伺います。

村長 吉の浦火力発電所建設に伴う協定書の中で環境保全及び公害防止に関する責務について議論されています。Co2削減や、定期健康診断の問題となりますと細則の方で細かく住民の皆さんと相談しながら決めていきたいと思えます。環境破壊や、住民の健康を損なう事がないよう万全を期すべく最大限の努力をはらっていきたくと考えています。

ヨシ子議員 水路(公有水面)の維持管理について、中部土木、県の港湾課、電力と連携して進めるという事でしたがどこまで進んでいますか。

建設経済課長 去った十一月に県の土木建築部長との行政懇談の中で依頼しました。誘致される企業と県と協議してできるだけ管理していきたい。

津覇地区かんがい排水事業の未稼働



浜田 京介 議員

建設経済課長 国の会計実施検査があった場合、指摘事項になると思います。

浜田議員 そういう事態にならないためにも村が維持管理費を負担してでも、早くかんがい施設を稼働させないといけないと思うが、村長の考えはどうか。

村長 浜田議員のおっしゃるとおり、急がないといけない状況下にあるということですので、早く稼働させるよう、進めていきたいと思えます。

ペット墓地建設問題の責任

浜田議員 ここまで大きな問題になった最大の原因は何か。

村長 役場窓口対応での事の重大性の認識不足だと思います。

浜田議員 私に言わせれば、こういう問題が起きたのは間違いなく、トップの責任ですよ。村長ご自身の責任のとり方の曖昧さが職員の使命感の欠如や、危機意識の欠如につながっているんです。村長ご自身が、責任は私にとるんだという強い気持ちで職員に伝われば、職員はあなたのために素晴らしい仕事をしますよ。と

浜田議員 万一、稼働するのがこれ以上遅れると、国からの補助金返還命令があると思うが、どうか。

にかく二度とこういう事が起こらないように、危機管理マニュアル等を作成してみてはどうか。

村長 トップの責任であるということについては、異論はありません。浜田議員おっしゃるとおり、マニュアルを作成し、二度とこういうことが起こらないように、しっかりやっていきたいと思えます。



かんがい排水施設

平成18年第2回 3月定例議会

可決

平成17年度一般会計補正予算（第8号）

補正額 1億325万2千円を減額 総額 58億3,409万1千円

可決

平成17年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

補正額 1,467万9千円を増額 総額 18億4,576万4千円

可決

平成17年度老人保険特別会計補正予算（第3号）

補正額 6,805万7千円を増額 総額 14億6,579万5千円

可決

平成17年度公共下水道特別会計補正予算（第4号）

補正額 1,584万9千円を増額 総額 3億6,928万7千円

可決

平成17年度水道会計事業会計補正予算（第3号）

補正額 871万4千円を増額 総額 3億9,848万1千円

否決

中城村職員の給与の特例に関する条例

※中城村職員の給与を一律5%削減したいとの当局からの提案に対し、賛成少数により否決した。

否決

中城村特別職（村長、助役）の給与に関する条例改正

※村長、助役の給与を一律10%削減したいとの当局からの提案に対し、賛成少数により否決した。

村長 716,000円 → 642,600円

助役 580,000円 → 520,200円

否決

中城村教育長の給与に関する条例改正

※中城村教育長の給与を10%削減したいとの当局からの提案に対し、賛成少数により、否決した。

教育長 544,000円 → 488,800円

否決

中城村議会の議員の報酬に関する条例改正

※中城村議会議員の報酬を一律10%削減したいとの当局からの提案に対し、賛成少数により否決した。

議員 243,000円 → 218,700円

否決

中城村の農業委員等、各種委員会委員の報酬に関する条例改正

※中城村の各種委員会委員等の報酬を一律5%削減したいとの当局からの提案に対し、賛成少数により否決した。

**可修
決正**

平成18年度 一般会計予算

総額 44億5,263万8千円

※審査の結果又は概要

- ① 歳入を総点検し、収入が見込めるものについては、すべて計上すべきである。
- ② 人事院勧告を無視して独自に人件費を削減することは、労使間の信頼関係が崩れる。
- ③ 受益者負担の原則を徹底し、収入すべきもの、支出すべきものを明確化する必要がある。
- ④ 国保会計への繰出金が急増しているが、医療給付費等を抑制する施策が必要である。

以上のことから、本年度予算については、削減すべきではないと思われる経費を復活すべきとの意見があり、下記について修正し可決した。

1. 学校用務員賃金の復活。
2. 中学校部活動指導員の謝礼金の復活。
3. 資料室警備委託料の復活。
4. 庁舎用務員賃金の復活。
5. 自治会長事務委託料削減分の復活。

平成18年度 土地区画整理事業特別会計予算

総額 10億5,777万5千円

- ・対前年比で1億429万8千円の増となっている。その主な要因は、国庫補助金1,800万円の減、一般会計繰入金、2,770万2千円の減、分担金及び負担金1億5,000万円の増によるものである。
- ・平成18年2月末までの事業進捗率は、54.9%、補助金ベースの執行率は90.6%以上となっている。保留地処分率は11.2%である。
- ・今後の事業執行については、現在、大型店舗誘致の交渉中で、それが成功すれば、保留地処分

平成18年度 公共下水道事業特別会計予算

総額 3億3,925万1千円

- ・対前年比1,261万8千円の減で、主な要因は使用料及び手数料109万2千円の増、村債2,370万円の減、一般会計繰入金999万円の増によるものである。
- ・接続可能数591件に対し、現在加入戸数は105件で前年度59件から比較すると評価できるが、接続率が約17.8%と非常に低い状況にあり、積極的な取り組みが必要である。

平成18年度 水道事業特別会計予算

総額 4億7万2千円

- ・対前年比1,030万5千円の増である。
- ・有収率を93.0%に設定しているが、常に施設点検・漏水調査等を行い、積極的に有収率を高める必要がある。
- ・水道事業開始以来30年近く、耐用年数切れの時期に来ている。施設整備の全体計画は、平成18年度から平成22年度までに、10億100万円を計画しており、それに伴う減価償却の増大と借り入れ利子支払いによる経営圧迫が懸念される。

平成18年度国民健康保険特別会計予算

総額 17億9,644万7千円

可決

- ・対前年比9,219万3千円の増で、保険者医療用給付費8,189万円、介護給付金1,421万7千円の増が主要因。
- ・健康増進モデル地域を指定し、徹底した予防事業導入を図り、医療費抑制を究明する必要がある。

平成18年度老人保健特別会計予算

総額 13億4,013万8千円

可決

- ・対前年比1,247万7千円の減で、主な要因は医療給付費の減による。
- ・医療費は以前として高い水準にあり、各自治会に健康相談、操体法等の予防事業を導入し、老人の健康管理を徹底する必要がある。

修正
可決

ペット霊園設置等に関する条例

平成17年10月にペット霊園が建設された久場区において、建設反対の決議を行って抗議をしております。その場所は村の第三次総合土地利用計画及び電源立地周辺地域振興策事業計画の真っ直中に位置し、住宅と隣接しており又、村の土地利用計画と地域振興にも大きな障害になることは必至であります。本議会はそのような地域住民の迷惑になる施設等、本村の規制できない問題等に対して、規制条例を設置するよう要請をして参りました。今3月定例会において、ペット霊園の設置等に関する条例が本議会に提案されました。本議会において、第4条「計画の説明」第1項の(8)号の追加、第2項の水平距離200m以内に、第5条「許可の申請」に(8)号自治会長等の同意書の字句を挿入、第6条「許可の基準」第1項の水平距離200m以上等を一部修正の上、全会一致で可決をしております。同条例の設置は県内初で、4月1日から施工される。すでに設置している業者は、施工後3ヶ月中に村長の設置許可を受けなければならないことを義務付けております。



今3月定例会において、ペット霊園の設置等に関する条例が本議会に提案されました。本議会において、第4条「計画の説明」第1項の(8)号の追加、第2項の水平距離200m以内に、第5条「許可の申請」に(8)号自治会長等の同意書の字句を挿入、第6条「許可の基準」第1項の水平距離200m以上等を一部修正の上、全会一致で可決をしております。同条例の設置は県内初で、4月1日から施工される。すでに設置している業者は、施工後3ヶ月中に村長の設置許可を受けなければならないことを義務付けております。

一般質問

平成十八年 三月定例議会



浜田 京介 議員

平成十八年度 予算編成

浜田議員 本年度予算は、財政難を理由に大幅な削減を強いる、緊縮予算になっているが、財政難に陥った最大の原因は何か。

村長 国の三位一体改革の影響や、本村の行財政改革の不十分さや、また、村長としての財政運営上の問題もあると認識しております。

浜田議員 削減ありきの予算編成にしか思えてならないが、歳入増につながる努力はしているのか。例えば、

村税の徴収率アップのためなどのような体制をしいているのか。

税務課長 現在、収納係長が滞納整理ということ一人でございませぬ。

浜田議員 国定資産税の滞納だけでも、二億円を超える滞納額があるのに、一人で徴収できるんですか村長。

もっと真剣に考えてもらいたい。例えば、専門の徴収プロジェクトチームを作つて、全課各課を網羅した形で取り組めば、費用対効果が出てくると思ひますよ。

村長 確かに徴収委員一人ではどうにもならないと思ひます。検討させていただきます。また全課体制についても議員ご指摘のとおり検討いたします。

(株)サンエーの誘致

浜田議員 村有地を一部賃貸させると聞いているが、契約期間と権利金、保証金の額を伺います。

総務課長 期間三十年、権利金、保証金については、まだ決まっております。

浜田議員 村の財産を三十年も貸すんだから権利金や保証金で補完するのはあたり前でしょう。専門家の意見を聞いて、しつかりやっていた方がいいと思ひます。

指名入札制度の改革

浜田議員 入札制度の改革は、きちんと機能しているのか。

村長 遺憾ながら、早期に取り組めなかつたことを深く反省しております。

浜田議員 指名基準を明確にしないと、偏つた指名とか、疑惑の目を持たれますよ。中城村への貢献度指数を作つて、指名基準を明確にするよう、提言をして、一般質問を終わります。

他に、中城城跡の利活用や、指定管理者制度、公務員給与構造改革、村道青葉苑線用地購入等の質問もありました。

役場職員の資質向上



新垣 善功 議員

新垣議員 村長は、職員の指導教育について、どの様に取り組んでいるか又、今後どの様に考えているのか、私は村政の発展・活性化の原動力は、職員向上にかかっていると申すも過言ではないと思ひます。村長の考えを伺います。

村長 全職員を対象にした半日研修、自治研修所への派遣研修など行つています。四、五年前までは、中堅職員を一年間県庁に出向させて研修もさせていましたが

村の財政

現在はおりませんが、今後は復活しなければならぬと思ひます。村政の活性化の原動力は職員の資質向上にあるという御指摘の趣旨については同感であります。

新垣議員 私は、職員の資質を向上させることにより、事務の能率を上げ、経費削減になると思ひますので、職員研修のあり方について、今後検討すべきであると思ひます。私は職員の資質向上策として、試験制度の導入と勤務評定の実施を提言します。

行財政改革

金が九千万円の減、自主財源は二億円の増となっておりますが、相殺すると約二億七千万円の減で、今後も減になることが予想されます。村の財政調整基金も、五億二千万円から、二億二千万円になり、財政はますます厳しくなつていくと思ひます。

新垣議員 実質単年度収支も、この三年間で五億円余の赤字になつてゐる。今後行政改革の推進と、歳出削減・徴収率の向上に努めてもらいたい。

新垣議員 第三者機関である「中城行財政検討委員会」の答申の村立保育園の民営化について、村長の考えを伺います。

村長 答申を重く受け止めて、その方向で民営化していきたいと思ひます。

新垣議員 民営化できるものについては、民営化を推進して行く様、強く要望します。

新垣議員 村長は、施政方針の中で、財政は危機的状況にあると述べられていますが、財政の状況について伺います。

村長 交付金や補助金、財政調整基金の推移等、財政状況については、企画課長の方から答えさせていただきます。

企画課長 国の三位一体の改革により、国からの交付税が、この四年で五億以上の減となっております。又、保育所の国・県からの負担



平成十八年度 一般会計予算編成



比嘉定榮議員

定榮議員 電源立地促進対策交付金二億円、サンエーへの保留地売却金二億二千万円と村有地年間賃貸料七千五百万円が当初予算に計上されていない理由を伺います。

村長 サンエーの誘致も決まったし、何としても自主財源を増やすには課税客体を増やし、増資を図らないといけない。そういう意味で南上原の土地区画整理事業は、非常に重要な今後の村の発展の核になりうるものだと私は考えております。

定榮議員 実質収支(単年度収支)と特別職の退職手当についておこたえください。

企画課長兼電源立地推進室長 単年度ではなくて、実質収支として申しあげるならば平成十六年度は一億五千二百万円余ります。平成十五年単年度収支につきましてはマイナスになっています。しかし平成十六年度においては二千八百萬円のプラスになっております。

総務課長 三役の退職金は村長が年数(任期期間四年間)×五ヶ月で一千五百八万円、助役は七百三十三万円、教育長は五百九十八万円以上です。

定榮議員 当初予算を組むに当たり、村長は沖繩電力、サンエーからの歳入を記せず、一億三千万円余の歳入不足を誇張し、職員給料・農業委員の報酬5%、議員の報酬10%をこり押ししている。それより先に、三役の退職金の厚遇を考慮しては?

体育館の整備計画 **定榮議員** 吉の浦運動公園を拠点にした社会体育施設の整備計画は、**生涯学習課長** 可能な限りやっていきたいと思っております。具体的な施設と対策としては、生涯スポーツの推進、社会体育関係団体等の支援強化、社会体育施設整備や運動器具の充実、村民誰もが楽しめるような施設にし、各種団体等とも連携を深めながら事業を進めていきます。

南上原土地区画整理事業 **定榮議員** 原案の作成日、地域住民(地権者)への説明は何回。
都市計画課長 原案は平成元年度に作成されています。元年五月から七月にかけて区画整理事業の説明会を村内、村外地権者に対して行っております。その他に、平成四年十一月には都市計画審議会を開いています。

定榮議員 平成元年五月の事業説明会では総予算は百二十八億円、その内移転補償費は三十八億円との説明です。二年後には移転補償費が五十八億円(プラス二十億円)に増えた理由?。
都市計画課長 実際この事業が始まりましたのは平成四年でございます。当初の予算総額は、歳入百四十五億円、歳出百四十五億円この事業費でスタートしております。

定榮議員 最後に南上原地区土地区画整理事業は虫食いの状態で執り行われ工事の遅れは、地権者のエゴの風聞だと言われていますが、村長の見解は。
村長 今提起されておりますような風聞は私は耳にしておりません。当初の計画とおり着々と進めていくことに努めたいと思います。



水道料金の公平性

宮城治邦 議員

宮城議員 水道料金は集中検針方式が採用されている為に、一戸住宅と協同住宅等との徴収料金に格差が生じ、公共料金に不公平が発生しております。その格差を是正する考えはないか。
村長 私も水道課長からこの件について、宮城治邦議員から質問が届いてから自身を知りまして、こう言う差があつてはと言うことで考えておりますので、あとで水道課長から中身を説明したいと思っております。

宮城議員 現行の水道料金の算出方法では公共料金の公平性からも不平等であり、アパートに入居する住民は割高の水を使用させられてるのが現実であります。村民税、固定資産税は村税

の柱であります。公共料金の公平性に十分配慮された政策を早急に実施することが不可欠と思えますが村長はどう考えるか。
村長 重要な問題提起だと考えて、真剣に取り組んでいきます。

公有水面上の水路の改善 **宮城議員** 久場自治会から要請されている、公有水面上の水路の抜本的な改良の実施計画予定はどうなっているか。
村長 県の土建部の方から措置状況が回答されました。それに依りますと、当該埋立地を譲り受け、利用を行う企業等を含めて関係者及び関係機関で協議の上、確実に努めていきたいと考えております。村もその方向で今後、粘り強く交渉して参ります。

産業高度化地域指定 **宮城議員** 産業高度化地域指定について、諸条件を整えて地域指定の本登録は完了されているか。又、それに伴う課税免除等の条例設置の準備はされているか。
村長 現時点では本登録まで至っておりません。総合事務局、県企業立地課及び沖繩電力等々と連携して、早期本登録に向けて努力している段階であります。

宮城議員 産業高度化地域指定制度を導入することは財政的に有利となるか、電源立地推進

の柱であります。公共料金の公平性に十分配慮された政策を早急に実施することが不可欠と思えますが村長はどう考えるか。
村長 重要な問題提起だと考えて、真剣に取り組んでいきます。

市街化区域編入 **宮城議員** 久場・泊区一帯の市街化区域編入の住民意向調査が実施されましたが、その結果と地域住民は区画整理事業と合わせてどのような理解と関心を持つておられるか。
都計課長 市街化区域編入の必要性については六九%で、区画整理事業への協力については、八二%の結果となっております。又、地域住民の気持ちとしては市街化区域編入を希望している住民が相当いらつしやるというところで理解しております。



道路整備

喜舎場 健 司 議員

喜舎場議員 村道も認定道路として一級村道、二級村道、その他村道と三つに区分されているが、それら全体を合わせた整備率について、また今後の整備計画について伺いたい。

建設経済課長 沖縄県市町村概要公施設整備状況によりますと、平成十四年度で改良率中城村が三十六・二%県平均で五十九・四%それから類似団体として四十四・二%、平成十八年度現在で三十七・五%の整備率であります。整備計画については今のところありません。

喜舎場議員 整備計画等も

早目に策定していただき防衛庁の民政安定化施設補助事業にうまく乗せて整備することができないか伺いたい。

村長 上地区の道路整備にこの事業が導入できるか防衛施設局との交渉をしたい。

喜舎場議員 未整備道路もこの上地区に集中して残されているのは事実であります。ぜひこの民生安定化施設事業に採択されるように、最大限努力をしていただきたい。

村長 議員御指摘のようにその防衛施設局の民生安定化事業が導入できますように鋭意努力をしていきたいと考えております。

歴史の道整備事業

喜舎場議員 新垣グスク整備事業については、平成十八年度終了となっておりますが、計画どおり進められているか、その進捗状況について伺います。また、新垣グスクの今後の計画については、平成十九年度から「国指定整備」となっておりますが、どのように進めていられるのか伺います。

生涯学習課長 新垣自治会、そして地域住民の方々のご理解と御協力もありません。

今のところ計画どおりに進んでおります。国指定準備ということについては、周辺、特にグスクの範囲が確定されますと、グスクの中への建物の建築は無理だと思えます。特に建物関係が規制が出ると思えます。

喜舎場議員 その規制については住民が十分理解できるように説明会の中でやっていただきたい。今後この事業を進めるに当たっては、地域との合意形成を最優先に考えていただきたい。これは大変重要なことです。

生涯学習課長 平成十八年度は報告書の作成ということとでございますので、その報告書の作成が終わり次第、新垣の区民の皆様方とは説明会を持つていきたい。

喜舎場議員 今後の歴史の道の利活用と維持管理は、

村長 観光客を誘致してとかがいいことではないかと、村民の憩いの場所として活用していきたい。維持管理については、厳しい財政難をどう乗り切っていくかということで大変胸を痛めております。地域の皆さんにもお願いを申し上げることもありますが私としては考えております。

農業生産の振興



仲 村 春 光 議員

仲村議員 農業・農村の活性化を目指すにはどのような振興策があるか伺いたい。

村長 本村は恵まれた農地があり村民は農業と共に生きてきた。これからの農業

本年度も農道整備や北浜、南浜排水路整備等農道基盤整備を進めていく。サトウキビの振興策については春植え株出しの単収向上対策に力を入れます。

仲村議員 サトウキビの生産量が毎年減取状況である中、今年度農林水産省が「生産価格制度」を廃止し、「直接支払い制度」に移行するとの事ですが行政としての対策は考えているか。

建設経済課長 制度が実施されるのが平成十九年二十年産からですので、中部の糖振協・J.A・行政団体の

がこの対策をいかにすべきかと言う事で一年間勉強会をして農家への周知をして対策をしていきたい。

南上原区画整理事業

仲村議員 平成十七年度末の執行率が五四・九%で事業の補助ベースが九十六%になっているが、今後の保留地処分計画はどうなっているか。又(株)サンエーとの合意内容について伺いたい。

都計課長 保留地処分は現在全体の売り出し面積二二・二五%の内、五四%が処分済みです。今後の計画としてインフラ整備し、各街区確定測量し、測量を終えた部分から順次処分する計画です。(株)サンエーとの合意契約の内容は、合意の締結日が平成十八年三月二十二日、保留地販売面積三千三百五・九㎡、村有地の賃貸借契約が八千二百八十一・九㎡と言う事で合意している。

仲村議員 保留地が思うように売れてないが、村長はどのような対策を考えていますか。

村長 (株)サンエーを誘致する事によって波及効果が出てくるだろうと期待もありません。社長に調印したら、サンエー用地の看板設置を掲げて欲しいと要請してあります。今後保留地処分はいろいろな手を使わないといけないと思います。

保留地が思うように売れてないが、村長はどのような対策を考えていますか。

仲村議員 村有地の賃貸借契約が三十年は長すぎるのではないか、村有地は三筆になっているので年次的に一筆づつ買収して頂く方法はできないのか。

村長 土地の地価の変動が考えられるので、地価公表時点で、交渉すると相談はしております。

利便と住み良い村づくり

仲村議員 以前から何度も要望している道路整備や環境整備の遅れている上地域の整備計画はどうなっているのか。

村長 防衛施設周辺整備民生安定化事業で進んでいる所と南上原区画整理事業に挟まれた北上原・新垣は、中長期的に環境整備計画を策定しなければならぬと思う。

村民の森整備計画

仲村議員 中城村総合計画の中で森林レクリエーションの拠点として事業実現に取り組んできたこの構想を村長はここ二、三年施政方針にも取り上げなくなっているが所信を伺いたい。

村長 村民の森構想がされている地域の真ん中を歴史の道が通るのでこの事業が完了次第、これと関連つけた公園づくりができないかと考えています。

他に歴史の道整備事業についても質問がありました。



平成18年度 施政方針

宮城重夫 議員

シゲオ議員 村長は村づくりの将来像として五項目にかけておられますが各項目に対する具体的な形が見えないがどうお考えか伺います。

村長 私が挙げた五項目の中で、具体的に見えないのは農業振興地域だと思えます。中城村全体が農業の振興地域で、特にどこが農業の振興拠点とあえて特定の位置づけはしていません。
シゲオ議員 今、県で新たな市町村合併で九梓組み案が提示されていますが、県から降りてきた時にどう対応なされるか伺います。

村長 中城、北中城の合併がああいう状態で破綻し、非常に大きなショックを受け後遺症はまだ残っています。合併の対象となる市町村の立場を考え合わせれば、ここ当分は実現しないのではないかと。

役場職員の数

シゲオ議員 十二月定例議会での役場職員の定数について、私の質問に対し、集中改革プランを策定中で三月中には議員の皆さんにその結果を報告すると答弁なさったが現在どうなっているか伺います。
総務課長 素案づくりの最中です。十七年度の定員の二三名からいかに削減できるのか。また事務事業の見直し、組織機能の見直し、民間委託等を勘案しながら作成し検討委員会、三役の同意も得て住民への公表をやっていくかと思えます。

調査委託費

シゲオ議員 調査委託経費六二〇万円で昨年九月ワーキンググループを設置し、検討委員会を立ち上げ、方向性を見出す為に作業中と

のことでしたが、どう進展したか伺います。
また十八年度の事務事業についてはどうなっているか。

企画課長 ワーキンググループが九回開催され、検討委員会が三回行われています。県内外の特産物販売等視察、十二月八日から二十五日まで仮設試験販売等を実施してまいりました。
村長 担当課ともよく調整をしながら道の駅、あるいは農産物販売所というかわかりませんが近々実現していきたいと考えています。

経営、組織、事業主体はどうするか、行政主導型か、もっぱら生産者任せも出来ないし農協、商工会もありますし、十八年度は諸条件整備、共通理解を図って十九年度に備えたいと思っています。



農産物フェア試飲の様子



奥間前原の 河川改修

知念政光 議員

知念議員 去年六月の大雨によって伊佐孝徳さんの畑に建設してあるマンゴハウス（パイプ）の基礎部分が崩壊して次に大雨が降れば倒壊する状態になっている。又この河川は今土砂で埋まっております。大雨が降れば雨水はすべて畑に流入する状態である。行政としてどう対処するか。
建設経済課長 農業経営においてでは農業共済に加入していただきたい。又奥間前原地区農村総合モデル整備事業が計画されたが、地権者の同意が得られず中止となったいきさつがあります。当該区域は現在農振農用地から除外されておりどのような事業が導入できるか検討している。

奥間前原地内 農道の補修

知念議員 給食センター改築工事に伴い土砂置き場へのトラックの往来により破損した農道の補修について村当局の対応を伺います。
教育総務課長 五月に工事が完了するのでその時点で最終的な補修を行う予定である。

知念議員 中城村農産物及び特産品の試験販売の総括について、どのような農産物及び特産品が出荷されたか又、購買者の対応はどうだったか。
企画課長 まず野菜関係については島ニンジンが中心でトマト、キュウリ、レタス等、又加工品として島ニンジンカステラ、田芋パイ、特異な商品としてヤギの乳チーズ、ミルク等、ノニに関する商品、月桃入りモロミ酢等がありました。十八日間トータルして出荷できなかったことは反省している。

知念議員 試験販売の目的は当然結果として道の駅の建設に継ぐことだがどう思うか。
村長 いきなりあの国頭村の「ゆいゆい」みたいに十何億円もかけて建設することはできないので、私はた

とえば成績によって、あるいは成果によって徐々に拡大することも一方法と思う。
知念議員 ワーキング調査によって農産物直販店の必要性は明らかになった。私はこの道の駅については規模を大きく考えてその中に民具の展示場インフォメーションセンター等、包括的というか集約的な機能を持った建造物に考えているが特徴としてどう思うか。
村長 現時点で村が事業主体になることは考えてない。運営組織をしつかり作り、情報収集をしながらつくるのを前提に検討していきたい。

知念議員 中城村の農業について、村長は中城村の基幹産業は農業であると施政方針の中に述べているが私の試算では二八〇haという優良農地を効率的かつ戦略的に指導していけば四十二億円の販売高を上げることができると現在の売上高は十分の一しかないがどう思うか。
村長 今何が農業を低迷させているかといったら、農業者の高齢化、兼業化、すなわちアルバイト的にやっていることに原因があると思われる。琉大農学部ノウハウをもっと活用しなければならぬと思っている。

村道青葉苑線



安里 ヨシ子 議員

ヨシ子議員 ゴミ処理施設青葉苑の進入路を平成十四年三月議会で村道に認定しました。同年十二月議会で七千万円の債務負担行為をし、進入路を十七年度中に買い上げていくという事でしたが、その事業が進んでない。何故予算執行できなかったのか。

村長 進入路の地権者五名の中に、二人はどうしても応じられないという事で、そのお一人が南米にいますので、私は南米まで行きました。地権者達と話し合いを持つと努力致しましたが歩調が合わないで今日に至っています。

ヨシ子議員 地権者との話し合いは随時行っていますとお答えですが、私の聞

いた所では、村側からの働きかけは一度もない。何回か役場に出向いて「進入路」の件はどうなっているの聞いてもまともな返事は無いとの事です。その点についてどうなっていますか伺います。

建設経済課長 確かに代理人を通じて早めに提示してほしい旨の話はありましたが境界の測量がまだと説明しました。遅れた事は申し訳ありませんが、不動産鑑定士の地点修正も完了し、金額の提示もされ、今決裁に回しています。

ヨシ子議員 賃貸契約の二十年が過ぎているのに再契約がなされてない。契約なしで地代を払っているんですか。

総務課長 契約については清掃事務組合でなされますので答えられない。契約が切れた後の道路の制限については、道路法第四条に私権の制限というのがある。道路認定された用地について私権の行使はできない、あくまでもそれを道路として利用していくという事です。

障害者自立支援法

ヨシ子議員 四月一日から実施されますが、応能負担

から応能負担に転換、利用料の割を負担する事で障害者やその家族に大きな不安を与えています。重い負担のため、サービスを受けられなくなる人達が増えてくると思いますが村長はどのように認識なされていますか。

村長 障害者の暮らしと人権を守るために行政は精いっぱい全力を尽くすべき。財政の危機にあり、力に尽した中で精いっぱい努力をするという態勢にかわりはございません。

ヨシ子議員 障害者のニーズに合った適正な判定が行われるように一連の膨大な事務処理の態勢はどうなっていますか。

村長 実際に七人必要だという話しもありますが四人体制です。

ヨシ子議員 現在無料で受けていたものが一割負担になり、世帯全員の収入が合算されると施設サービスも受けられなくなる人達も出てくると思いますが。

村長 当然、該当者、関係者を委員の中に含める事により望ましいと判断しています。

仲宗根議員 児童虐待防止及び、子供の安全確保について、村当局の対策状況をお伺いします。

村長 虐待が特に発見されやすい保育所、幼稚園、小学校等に、民生委員や児童委員、母子保健推進委員、社会福祉協議会等々、関係機関が連携をとって早期発見、早期対策に努めております。

教育総務課主幹 子供の安全確保について、一月十一日に両小学校で親子ふれあい下校を開催した。下校をしながら安全マップをつ

児童虐待防止と子供の安全確保



仲宗根 哲 議員

って、安全点検をしていく取り組みです。またスクールガードの取り組みに重点を置き、老人会や民生委員、自治会長、各種団体に呼びかけて、安全安心パトロールに力を入れています。腕章を二五〇作成して老人会や他団体に協力をお願いする予定です。長期にわたってスクールガードの編成取り組みを推進しているところです。

仲宗根議員 子供の安全確保については、他市町村も独自の取り組みを行っておりますが、ぜひ本村も六月の補正で防犯パトロール中のステッカーを作製し、公用車や商工会を通して企業、また各部落にも配布して、全村的に子供たちの安全を確保する為にもぜひステッカーを作製するようお願いいたします。

潰れ地補償及び道路と土地の台帳整備

仲宗根議員 平成十五年三月の定例議会において、村長は検討を要する事項だと答弁されましたが、その後のように検討され、現在どのような状況になっているのかお伺いします。

村長 戦後処理の一環とし

て行われている市町村道の未買収事業については、ほとんど処理がなされていると私は理解しております。しかし、農村総合整備事業の場合は、現道整備として地権者の同意を得て実施したものであり、村としては補償しないものとして、取り組んできたという、いきさつがあります。

建設経済課長兼農業委員会事務局 現在本村において一級村道、二級、その他村道がありますが、それ相当の未買収用地が残っています。現在その未買収用地について今財政的な状況では、それに対応するような事業や補償は、面積等々、厳しいものがあり取り組んでおりません。また公図上と村道との境界のトラブル等、年間何件かできておりますが、地権者の方にお願いをして利用させていただいています。

仲宗根議員 地権者が変わればトラブルのもとになるし、子供や孫のためにも、買い上げが出来なければ、せめて公図だけでも直していただきお互いトラブルのないように、早急にとりこんでいただきますよう、お願いします。



削減ありきの 予算編成

仲 真 功 浩 議員

仲真議員 保育所では早出、

遅番とも含めて不規則な十一時間保育をやっている。

そのような中であって、主にクラスを持たずとか、いろいろ削減のことが問題になっておりますが、これで保育所の安全が確保できると考えているのか。

村長 冒頭に申し上げましたように、保育所の主任にクラスを持たずということ避けて、人員をつけて対応するというのを保育所の三所長と合意しました。

仲真議員 まさに今おっしゃっているところが、でたらめな予算づくりなんです

よ。すべてをカット、それから予算編成に入っている。あとで誰かが指摘すると、「ウレナランサー」と言っただけですね。

村長 三所長との話し合いでは、その一年間をよく経過観察しながら、走らせますということ合意しました。

教育予算の確保を

仲真議員 学校の安全確保の十分な体制もできてないのに、用務員を引き揚げるということでありますが、これで学校の安全確保、あるいは教育の職場環境の維持管理ができるとお考えですか。

教育長 教育委員会としては、用務員はぜひつけてほしいと思っております。中城村以外の市町村は全部ついておりますので、ぜひ用務員はつけてほしいというふうに教育委員会としては思っております。

仲真議員 教育費は幾らかでもカットできます。現場

ではカットされたらカットされたなりの対応できます。例えば、理科の実験なんて子供にさせなくて先生がやればいい、一カ所に集まってるね。カラープリントも使わなければいいんです。どんな対応もできます、教育現場は。しかし、果たしてそれが我々の子供たちの教育として正しいのか。あるいは立派な教育ができるかということなんです。その辺についてどう思われますか。

教育長 今、村は大変財政的に厳しいところがあると思います。教育委員会としては村とも色々協議をする中で、要求していかねればいけないことについては、粘り強く相談しながら、学校の教育環境の整備に当たっていききたいと思っております。

仲真議員 教育長は村の教育の最高責任者として、頑張って教育立村を守っていただきたいということを希望してこの件については終わります。

与那覇議員 「戦後最大の

農政改革」食糧、農業、農村基本計画の見直しに伴い、サトウキビ安定化対策が決まった。①現行手取額の確保を目指す新制度。②助成制度の対象要件。個人一ha、組織四・五ha規模以上の生産者が助成対象。〇七年からは作れば誰でも助成が受けられた最低生産者価格制度が廃止、国が認めた生産者だけを助成する制度に変わります。多くの生産者が助成対象から取り残されると

サトウキビ安定化対策

与那覇 朝 徳 議員



危惧されるが村長の所信を伺いたい。

村長 〇七年から三年間は零細農家も生産組織へ参加する事で助成対象となる。全サトウキビ生産農家が生産組織に入ってくれるように、村、農協、中部糖振協を含めて強力に加入を呼びかけた。

与那覇議員 集落営農組織は經理の一元化。営農実態のあるものを限定、その他要件もある。平成十八年度中に関係地区の具体的実施計画をまとめ国に提出する事になってるが、その対応体制はどうなっているのか。

建設経済課長 JA沖縄中央会が取りまとめ県を通して組織や集落営農をどのような形にするか等準備を進めている。

与那覇議員 増産プロジェクトの要件を満たさない、狭い圃場や機械化導入の厳しい傾斜地等、洩れる生産農家が少なからぬと危惧するが？

村長 生産構造の弱体化が進んでいる状況の中で一ha未満は切り捨てるやり方は村長として、この政策は

中城にそぐわない。

与那覇議員 昨日の課長の答弁で「国は決定したが、このままでは嫌だ」再考を求めていく「要請して行く」との答弁があった。是非そうして頂きたい。この品目横断的政策転換後は、サトウキビは代替作物の乏しい自然状況で多くが零細な経営により生産されている実態を踏まえた、対応が必要と明記されている。

建設経済課長 生産組織を預かっているJAがリーダーシップをとり、農業委員会は担い手農家の育成と解

与那覇議員 組織はJAや農業委員会が面倒を見るが、私が一番懸念しているのは助成対象から洩れる生産者をどうするかである。沖縄の基幹産業と位置づけているサトウキビを皆で作れる農業を制度化するきめ細かな施策を講ずるよう求めて質問を終わります。



国・県表彰おめでとう!!

全国表彰 新垣善功・新垣徳行・平安山良成
 県表彰 中村春光・宮城重夫・眞築城安宗・井口康市・与那覇朝徳 平成18年3月31日



新垣 修

4月1日付で議会事務局配置になりました。
 前任の新垣貞則さん同様、議会と執行部、そして村民とのパイプ役として、努めてまいります。どうぞ、よろしく

議員・事務局職員研修

平成18年2月22日、浦添市民会館において

- ・「18年度市町村予算編成と行財政運営の課題」について 講師 杉浦友平氏 と
- ・「夕日でまちづくり」 講師 若松進一氏 の講演がありました。



編集後記

今年雨が多く、うっとうしい日が続きましたが村民のみなさんいかがお過ごしでしょうか？ 今期議会最後の「議会だより」をお届けいたします。

過去四年間を振り返った時いろいろな重大な出来事が起きた四年間でした。

第一に北中城村との合併破綻は中城村民に大きなショックを与えました。縦糸横糸が複雑にからみ合い民主主義のむずかしさの一面を肌で感じたことでしょう。

第二に国からの三位一体改革による大幅な補助金、負担金削減は私たちの想像をはるかに越え自治体の運営が困難になって来た。国の地方に対する財政改革は、平成十八年度で一段落したと思われまふ。今後は村の財政状況踏まえて新たな自治運営を模索しなければならぬ時代の到来です。困難なこの時こそ逆の発想に立つて村民が一体になって村づくりに参加し自らの手で自分達の地域づくりをしましょう。

「議会だより」ご愛読ありがとうございます。



浜田京介 喜舎場健司 仲眞功浩 宮城重夫 宮城治邦 比嘉定栄